

平成 28 年度いじめ未然防止プログラム「活動のマトリクス」

学校名 北海道登別青嶺高等学校

	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育（家庭や地域）と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ（その他）道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム
① 居場所づくり 教師が主体	<b>【A 学習会の実施】</b> ・放課後等に、希望者を対象とした補習や学習相談を行うことにより生徒の居場所づくりを行う。	<b>【D 宿泊研修（1年）】</b> ・構成的グループエンカウンターの実施（集団活動）による居場所づくりを行う。	<b>【G インターンシップの実施】</b> ・地域企業等と連携した就業体験を通してキャリア教育を推進する。	<b>【J スマホ預かり指導の実施】</b> ・登校から下校まで携帯電話を預かり、学校にいる間、友人とのコミュニケーションを図る時間、機会を増やす。
② 絆づくり 生徒が主体	<b>【B① 自己理解】</b> ・エゴグラムで生徒自身の内面を知る。  <b>【B② アクティブ・ラーニング】</b> ・ペア、グループワークを活用し、言語活動の充実を図る。	<b>【E いじめ防止ポスターの作成】</b> ・「北海道心の教育推進キャンペーン」において、いじめ撲滅ポスターの作成と校内掲示を行う。	<b>【H ボランティア同好会の活動】</b> ・発表のスキルを高めるための取組を行う。	<b>【K デートDV出前講座】</b> ・デートDVに関する講座の受講と代表生徒によるロールプレイの実施を併せて実施することで、尊重し合える人間関係を築く力を育成する。
③ 環境づくり いずれかが主体	<b>【C 対面式】</b> ・生徒会が中心となり、新入生の新しい学校生活に希望や意欲を高める環境を整える。	<b>【F 教育相談】</b> ・「ほっと（年2回）」、「Q-U（年2回）」を活用した教育相談活動を行い、結果の分析を基に、教育相談体制の充実を図る。	<b>【I 文化部発表】</b> ・学校祭において、美術部・新聞部・図書部などの文化部活動で制作した作品の展示を行う。	<b>【L メンター制度】</b> ・3学年担任を除く全教員が各7～10人の生徒を受け持ち、進路指導も含めた総合的なサポートを行う。

 は、活動のつながりを示しています。

太枠網掛けをした活動は、「指定校の主な活動」に概要が記載されています。

平成 28 年度いじめ未然防止プログラム「年間の取組計画」

【本校の取組の特徴】

- 講演会でのロールプレイングや意図的に生徒同士がコミュニケーションを図る場面の設定など、生徒のコミュニケーション能力を育てています。
- 生徒が落ち着いて安心して学習に取り組めるように、「ほっと」や「hyper-QU」の実施と分析により生徒理解に努め、生徒の居場所づくりにつながるよう、指導の工夫を図っています。

月	学校行事等	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域等の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育（家庭・地域）と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ （その他）道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム	備考
4	始業式 入学式 対面式 宿泊研修	対面式【環】 アクティブ・ラーニング【絆】	宿泊研修【居】 ★教育相談【環】	ボランティア同好会の活動【絆】	スマホ預かり指導の実施【居】 メンター制度【環】	生徒面談
5	生徒総会 高体連壮行会	学習会の実施【居】				
6	前期中間試験	自己理解【絆】				「hyper-QU」実施① いじめアンケート実施①
7	学校祭			文化部発表【環】		
8			いじめ防止ポスターの作成【絆】			「ほっと」実施①
9	終業式（前期） 前期期末試験					
10	始業式（後期） 職業調べ 体験入学					生徒面談 いじめアンケート実施②
11	インターンシップ 職業調べ・発表 後期中間試験			インターンシップの実施【居】	デートDV出前講座【絆】	「hyper-QU」実施②
12	後期中間試験					
1	後期期末試験 （3年）					「ほっと」実施② 全員面談
2	後期期末試験					学校基本方針の見直し
3	卒業式 修了式 （学年末休業）					年間活動計画の重点項目・観点の検討
4						年間活動計画の決定

※【居】【絆】【環】は、【居場所づくり】【絆づくり】【環境づくり】の各観点を示しています。

平成 28 年度いじめ未然防止プログラム「活動のマトリクス」

学校名 北海道富川高等学校

	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育（家庭や地域）と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ （その他）道徳教育・人権教育・情報モラル教育等の関連を図ったプログラム
① 居場所づくり 教師が主体	<b>【A 放課後講習の実施】</b> ・希望者を対象に補充的な学習を行い、学習の指導とともに生活面などの相談を行う。	<b>【D 教育相談の手法を取り入れた学級づくり】</b> ・構成的グループエンカウンターなどを、クラスの実態に合わせ、年間を通じて計画的に行う。	<b>【G コミュニケーションスキルの向上】</b> ・地域や外部講師との連携のもと、構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングなどを実施する。	<b>【J ケータイ安全教室】</b> ・外部機関に協力してもらい、インターネットの適切な利用方法や他者とのコミュニケーションの図り方を学ぶ。
② 絆づくり 生徒が主体	<b>【B 対面式】</b> ・生徒会執行部が中心となり、行事説明、部活動紹介などを行い、新入生を迎え入れる雰囲気をつくる。	<b>【E 学校祭の企画・立案】</b> ・生徒会執行部を中心に昨年度と同じ取組だけではなく、新たな取組などを企画・立案し実施する。	<b>【H 交通安全運動】</b> ・生徒会執行部や委員会が中心となり、街頭での交通安全啓発活動を実施する。	<b>【K 朝の挨拶運動】</b> ・生徒会執行部や部活動生徒が中心になり、よりよい挨拶を心掛け実施する。
③ 環境づくり いずれかが主体	<b>【C カタリバの実施】</b> ・進路学習の一環で、大学生との交流を通して進路意識の高揚を図るとともに、自己有用感や自己肯定感の向上を図る。	<b>【F 花壇の整備】</b> ・ボランティア部が中心となり、花壇を利用し、植物・作物を育てる。	<b>【I BUNBUN祭り】</b> ・文化系部活動による発表として、中学校や地域の団体とも連携し、合同で発表などを行う。	<b>【L ピア・サポート研修】</b> ・希望する生徒を募り、ピア・サポート活動を行う。

↔ は、活動のつながりを示しています。

太枠網掛けをした活動は、「指定校の主な活動」に概要が記載されています。

平成28年度いじめ未然防止プログラム「年間の取組計画」

【本校の取組の特徴】

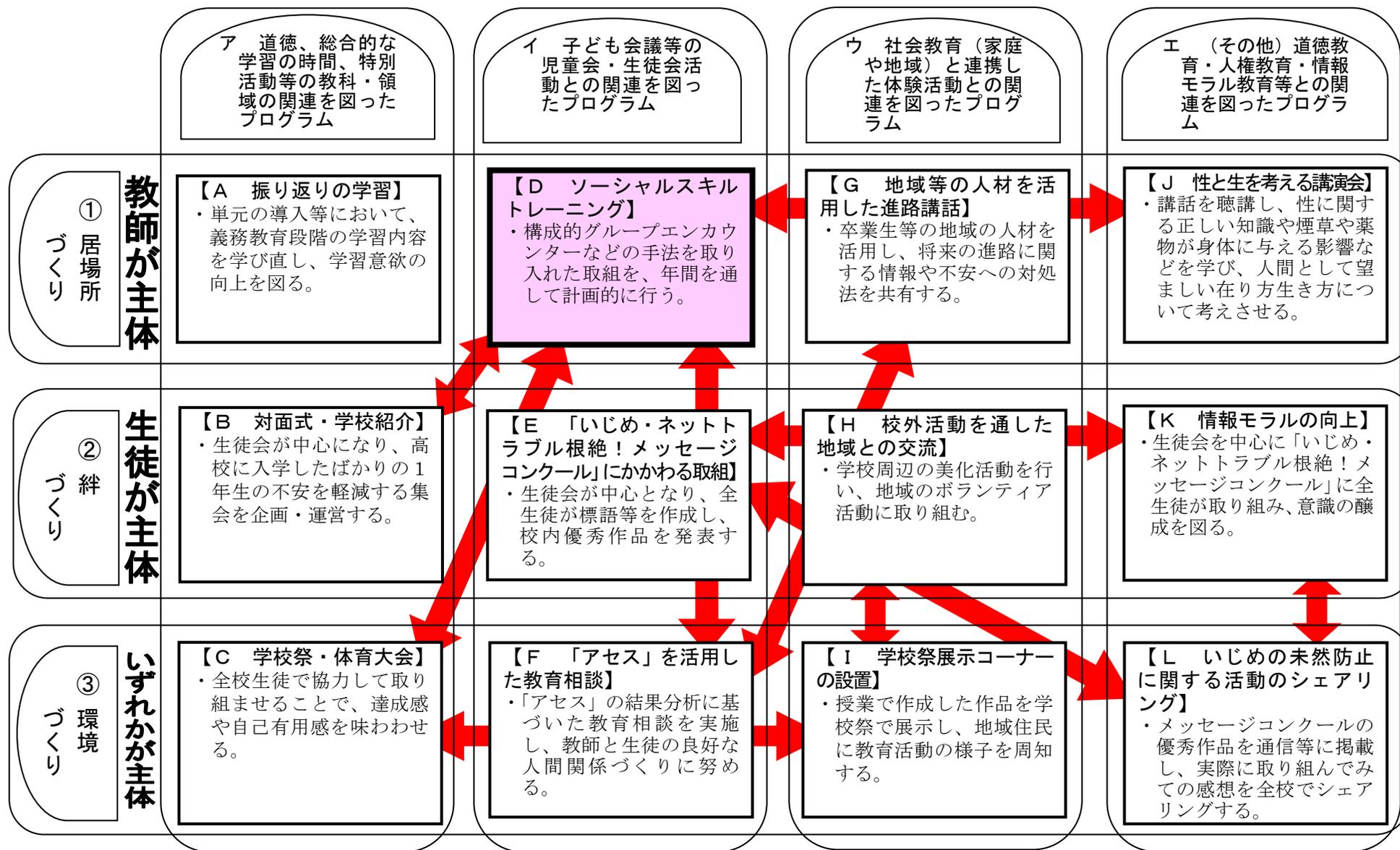
●地元の中学校出身者が大半を占める本校では、小学校からの人間関係がそのまま引き継がれていることが多いことから、いじめ未然防止に向けて、仲間の新たな一面を発見し、お互いを認め合える人間関係を構築できるようにすることを目的とし、他者とのコミュニケーションの取り方を重視した活動をしています。

月	学校行事等	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域等の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育(家庭・地域)と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ (その他)道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム	備考
4	始業式 入学式 対面式	対面式【絆】		★コミュニケーションスキルの向上【居】	朝の挨拶運動【絆】	
5	生徒総会 高体連壮行会		学校祭の企画・立案【絆】		ケータイ安全教室【居】	いじめアンケート実施①
6	前期中間考査 通学路清掃	カタリバの実施【環】	花壇の整備【環】	交通安全運動【絆】		
7	学校祭					「ほっと」実施① 「アセス」実施①
8	夏期講習会	放課後講習の実施【居】				
9	前期期末考査 インターシップ マラソン大会				ピア・サポート研修【環】	中間反省の実施
10	生徒総会					いじめアンケート実施②
11	修学旅行 後期中間考査		教育相談の手法を取り入れた学級づくり【居】			「ほっと」実施② 「アセス」実施② 教育相談の実施②
12	冬期講習会			BUNBUN祭り【環】		
1	宿泊研修					
2	卒業考査 学年末考査					年度末反省 年間計画の見直し
3	卒業式 修了式					年間活動計画の決定
4						

※【居】【絆】【環】は、【居場所づくり】【絆づくり】【環境づくり】の各観点を示しています。

平成 28 年度いじめ未然防止プログラム「活動のマトリクス」

学校名 北海道函館中部高等学校（定時制）



←→ は、活動のつながりを示しています。

太枠網掛けをした活動は、「指定校の主な活動」に概要が記載されています。

平成28年度いじめ未然防止プログラム「年間の取組計画」

【本校の取組の特徴】

- 年間を通して、構成的グループエンカウンターに取り組み、望ましい人間関係形成能力やコミュニケーションスキルの育成を目指しています。
- 「アセス」の結果分析に基づいた教育相談を年間2回行い、生徒が抱える課題の早期発見・早期解決に努めています。

月	学校行事等	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域等の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育(家庭・地域)と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ (その他)道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム	備考
4	始業式 入学式 対面式	振り返りの学習【居】 対面式、学校紹介【絆】	★ソーシャルスキルトレーニング【居】			
5	生徒総会		★「アセス」を活用した教育相談【環】			「アセス」実施① 教育相談の実施①
6	定体連支部・全道大会 前期中間考査					いじめアンケート実施①
7	学校祭	学校祭【環】		学校祭展示コーナーの設置【環】 地域等の人材を活用した進路講話【居】 校外活動を通じた地域との交流【絆】		校内研修会の実施①
8	夜間遠足 市内定時制3校合同講演会		「いじめ・ネットトラブルメッセージコンクール」に関わる取組【絆】		情報モラルの向上【絆】 性と生を考える講演会【居】	
9	前期期末考査				いじめの未然防止に関する活動のシェアリング【環】	
10	宿泊研修(2年) 体育大会 生徒会役員選挙	体育大会【環】				
11	見学旅行(3年)					いじめアンケート実施②
12	後期中間考査 芸術鑑賞					「アセス」実施② 教育相談の実施②
1	後期期末考査(4年)					
2	予餞会 後期期末考査					学校基本方針の見直し
3	卒業式 終業式					年間活動計画の重点項目・観点の検討 年間活動計画の決定
4						

※【居】【絆】【環】は、【居場所づくり】【絆づくり】【環境づくり】の各観点を示しています。

平成 28 年度いじめ未然防止プログラム「活動のマトリクス」

学校名 北海道上ノ国高等学校

	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育（家庭や地域）と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ （その他）道徳教育・人権教育・情報モラル教育等の関連を図ったプログラム
① 居場所 づくり 教師が主体	<p>【A 学び直しのための学習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校生徒を対象に、放課後に高大連携のeラーニングを利用した個別学習の機会を設定する。</li> </ul>	<p>【D 教育相談を軸とした生徒の実態把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級づくりの支援策として、生徒が相談相手の教諭と話題を決めて行う全校教育相談を行う。</li> </ul>	<p>【G 地域の人材を活用した進路講話】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓生等の地域の人材を活用し、希望する進路に関する情報や進路実現に伴う不安への対処方法を共有する。</li> </ul>	<p>【J 生徒指導講話】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警察署から講師を招聘し、飲酒、喫煙、自転車の乗り方や交通事故の実態など、非行や事故の未然防止方法を理解させる。</li> </ul>
② 絆 づくり 生徒が主体	<p>【B 保育実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人間関係の中で柔軟に対応でき、共生が可能な人格を形成し、「絵本の読み聞かせ」「紙芝居」「手遊び歌」等を通して伝達力や表現力を向上させる。</li> </ul>	<p>【E いじめ根絶討論会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校生徒を対象に、学年混合のグループ・ワークショップを通して、いじめの実態を認識し、未然防止に役立てる。</li> </ul>	<p>【H 職場体験学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の事業所での体験学習と事前・事後の学習を通して、人間関係形成・社会形成能力、課題対応能力自己理解・自己管理能力を身に付けさせる。</li> </ul>	<p>【K 情報モラルの向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSを安全に使用するスキルや知識を学ぶ。</li> </ul>
③ 環境 づくり いずれかが主体	<p>【C 全校一斉清掃・後片付け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の前後や、長期休業前等に、全校生徒で協力しながら後片付けや清掃を行う。</li> </ul>	<p>【F 花壇整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動、部活動と有志の活動として、校舎敷地内の花壇の花植えを行う。</li> </ul>	<p>【I 地域清掃ボランティア活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の清掃事業と連携して、全校生徒で校舎周辺の清掃を行う。</li> </ul>	<p>【L 上高ステップアップ・プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SGEの手法を用いて自己理解を深め、対人関係能力の基礎力を養う。集団討論が可能な良好な環境づくりを進める。</li> </ul>

 は、活動のつながりを示しています。

太枠網掛けをした活動は、「指定校の主な活動」に概要が記載されています。

平成 28 年度いじめ未然防止プログラム「年間の取組計画」

【本校の取組の特徴】

● 「いじめ根絶討論会」は生徒会執行部のリーダー性と主体性を引き出すために、事前準備に十分に時間を取っている。また、全校生徒の活動においては各グループのリーダーを指名し、グループリーダーとしての役割を持たせ話し合いを進めることで自己有用感を高める活動となっている。また、異学年間の交流は人間関係調整能力を高め、生徒間の信頼関係を深める機会となっています。

月	学校行事等	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域等の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育（家庭・地域）と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ （その他）道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム	備考	
4	始業式 入学式 宿泊研修 対面式			地域清掃ボランティア活動【環】	上高ステップアップ・プログラム（全年）【環】		
5	生徒総会 高体連	【通年】学び直しのための学習会【居】	教育相談面談①【居】				
6		保育実習【絆】	花壇整備【環】	職場体験学習【絆】		「ほっと」実施①	
7	学校祭 全校集会	【通年】全校一斉清掃【環】			生徒指導講話【居】 情報モラルの向上【絆】	年間活動計画の修正	
8	全校集会				上高ステップアップ・プログラム（学年別）【環】		
9	全校集会		☆いじめ根絶討論会【絆】				
10	全校集会		教育相談面談②【居】		上高ステップアップ・プログラム（学年別）【環】		
11					生徒指導講話【居】 情報モラルの向上【絆】		
12	校内球技大会 全校集会	【通年】全校一斉清掃【環】			上高ステップアップ・プログラム（3学年）【環】	「ほっと」実施②	
1	全校集会	これまでの取組の結果や生徒の状況に応じて計画を見直し、必要な取組を行います。					年間活動計画の見直し
2					上高ステップアップ・プログラム（1・2学年）【環】	年間活動計画の重点項目・観点の検討	
3	卒業式 終了式	【通年】全校一斉清掃【環】		卒業生進路講話【居】		年間活動計画の決定	
4	始業式 入学式						

※【居】【絆】【環】は、【居場所づくり】【絆づくり】【環境づくり】の各観点を示しています。